

2024 年 1 月 30 日

2023 年度聖路加国際大学大学院  
看護学研究科修士論文

予定しない不意の初回面接場面における保健師の支援技術

Exploring the Skills and Strategies of Public Health Nurses in Conducting Impromptu  
Initial Interviews

学生番号 22MN028

氏名 三好 諒

## 要旨

### 【目的】

本研究の目的は、予定しない不意の相談の初回面接の場において、保健師が面接対象とどのように関わり、何を感じ、どう判断し対応したのか、何を聞き、どう関係性を築いたのか、初回面接時の保健師の支援技術を探究することである。

### 【方法】

市町村・都道府県に所属し、保健事業（含、介護予防事業）に携わっている保健師で、概ね5年以上の実務経験を有する者10名を対象に半構造化インタビューを実施し、質的に分析を行った。データ収集期間は2023年9月から2023年12月上旬である。インタビューの内容を録音して逐語録を作成、保健師の初回面接時の支援技術が表現される単独で理解可能な最小単位の言葉や文章を取り出し、コード化しカテゴリを作成した。カテゴリの再編、移動、融合を繰り返しながらカテゴリの統合を進め、不意の初回面接における支援技術を抽出した。本研究は、聖路加国際大学研究倫理審査委員会の承認を受けて実施した。（番号：23-A005）

### 【結果】

インタビューは10名計10回実施し、それぞれの保健師経験年数の平均は8.2年であった。インタビューに要した時間は22分～78分であり、平均50.5分であった。予定しない不意の初回面接場面における保健師の支援技術の要素として、対象者との関係性と初回面接のマネジメントの2視点が得られた。対象者との関係性の視点からは、【安心して語ってもらうための雰囲気・環境を作る】、【対象者本人が何をしたいのか、何をしてもらいたいのか、思い（核心）をつかむ】、【対象者が自身の課題とその解決に支援（手伝い）が必要なことに気づいてもらう】、【次の目標について対象者と共有する】4要素のカテゴリが抽出された。マネジメントの視点からは、【場のマネジメント】、【時間のマネジメント】、【自身の感情のマネジメント】、【関係性のマネジメント】4要素のカテゴリが抽出された。

### 【結論】

予定しない不意の初回面接場面における保健師の支援技術とは、対象者に自身の課題に気づいてもらい、継続的な支援につながることであった。